

### 令和6年度の「市町村支援の充実」に係る取組

各市の取組を把握することにより、先進的な取組については他市へ共有することで圏域全体の底上げに繋がったり、課題とされている取組については、各市の状況やニーズに応じた的確な支援を実施するため、調査及びヒアリングを実施

- **先進的な取組は各市特色が異なる**  
⇒ 保健所が主催する研修等を通じて紹介し、他市における取組促進に繋げる
- **共通する課題を確認(※)**  
⇒ 集合研修の機会を増やすことに加え、各市の状況に応じた個別の支援を実施



#### ※ 共通課題

- ① 避難所等における衛生管理対応（初動期）
- ② 発災後72時間以降の保健活動の具体化
- ③ 福祉避難所の開設・運営

令和7年度の市職員向け集合研修においては、「② 発災後72時間以降の保健活動の具体化」を推進することを目的として実施

#### 円滑な災害時保健活動に向けた情報管理のトレーニング 情報管理の基盤 クロノロジーをマスターしよう！

#### 避難所における保健活動の具体化に向けて 発災72時間後の避難所を巡回してみよう

実施日時	6月6日（金曜日）13:30～16:30 <参加実績 58人>	8月8日（金曜日）13:30～16:30 <参加実績 54人>
目的	発災後3日間は、保健・医療・福祉ニーズや避難所情報等、多種多様な情報が入り乱れることから、情報を適切に処理できるようになることを目的として、 <b>クロノロジーを活用した情報管理</b> の演習を実施	発災3日目以降、時間が経過する中で発生する衛生問題や健康課題等に対応するため、 <b>災害関連死や二次健康被害の予防に向けた観察の視点や報告・対応方法</b> を身に付けることを目的とした実践演習を実施
内容	<b>想定フェーズ</b> 発災直後～72時間 <b>参加者の役割</b> 市の本部職員（市災害対策本部・市保健センター） 本部で想定される保健・医療・福祉に係るイベントを、運営側が1分間に1回のペースで読み上げ、参加者がクロノロジーに書き出し、記載された内容を基に情報整理を行う演習を実施	<b>想定フェーズ</b> 発災後72時間～ <b>参加者の役割</b> 市の保健活動チーム(保健師、栄養士、事務職等) 避難所で想定される衛生問題・健康課題を、多摩府中保健所の各会議室で再現し、参加者は保健活動チームの一員として巡回しながら観察のポイント等を学ぶ演習を実施
		

# 情報管理の基盤 クロノロジーをマスターしよう！

情報管理の基盤となるクロノロジーの活用方法を学ぶため、クロノロジーの記録演習を2回実施。

1回目は市の災害対策本部、2回目は市の保健センター本部で想定されるイベントを、運営側が1分間に1回のスピードで読み上げ、それを参加者がクロノロジーに記録し、グループワークで情報整理を行った。

日	時	発信者	受信者	内容	メモ
21	06:15~04:3	市災害対策本部	保健所	5月30日 18:00 福岡市 水いんぱん...	保健所保健所 巡回状況確認
22	06:15~04:3	保健所	保健所	巡回状況確認	
23	06:15~04:3	保健所	保健所	巡回状況確認	
24	06:15~04:3	保健所	保健所	巡回状況確認	
25	06:15~04:3	保健所	保健所	巡回状況確認	
26	06:15~04:3	保健所	保健所	巡回状況確認	
27	06:15~04:3	保健所	保健所	巡回状況確認	
28	06:15~04:3	保健所	保健所	巡回状況確認	
29	06:15~04:3	保健所	保健所	巡回状況確認	
30	06:15~04:3	保健所	保健所	巡回状況確認	

研修で記録したクロノロジー

## 研修の様子



情報を地図に落とし込む様子



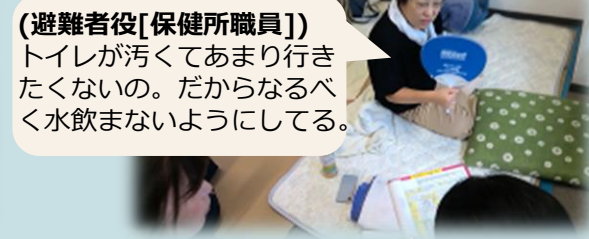
クロノロジーへの記録の様子

# 発災72時間後の避難所を巡回してみよう

**ポイント③**  
食品の衛生管理

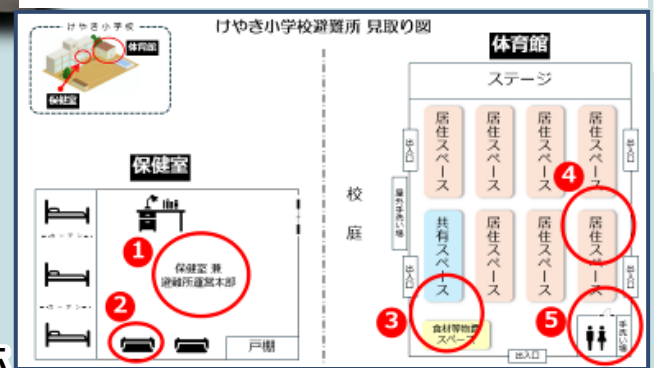


**ポイント④** 発熱者(熱中症患者)への対応



(避難者役[保健所職員])  
トイレが汚くてあまり行きたくないの。だからなるべく水飲まないようにしてる。

けやき小学校(架空の小学校名)避難所の見取り図  
①~⑤のポイント、保健所内の会議室で再現



作り置きのカレーライス  
やおにぎり・サンド  
ウィッチに見立てたもの

**ポイント②**  
乳児連れ家族の対応



(研修参加者)  
赤ちゃんはミルク飲めていますか？パパさんも眠れていますか？

(避難者役 [保健所職員])  
避難生活のストレスから、妻も私もあまり眠れていなくて・・・

**ポイント⑤**  
トイレ周辺の衛生管理



汚物で溢れる  
トイレ

## 今後の取組

- 情報管理の演習等、各市において独自に実施できるよう、研修で用いたイベントの内容や時間配分・演習の進め方を精査し、演習ガイドを展開

# 令和7年度 多摩府中保健所における災害対策に係る取組②

市町村支援の充実②

- 各市のニーズ・課題等を踏まえ、各市の実際の状況（地域防災計画や各種マニュアル等）に応じた研修・演習を個別に実施

## 小金井市

実施日時	7月28日（月）19:00～20:10
市参加者	23人（市職員14人 [福祉保健部、子ども家庭部、地域安全課等]） （その他 9人 [市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会]）
内容	<p><b>「災害時におけるクロノロジーの活用」</b>                      多摩東部直下型地震の発災を想定し、発災後～概ね8時間に小金井市災害対策本部、<u>小金井市保健センター</u>、<u>医療救護活動拠点（小金井太陽病院内）</u>のそれぞれで想定されるイベントを、クロノロジーを活用しながら情報整理を行う演習を実施。</p>

### 参加者の意見

- ・ 1回の短時間の訓練では全く不十分。**繰り返しの必要性**を痛感した。
- ・ 情報を書き込むには、ルールを定めて**繰り返し訓練し、複数人で慣れておく必要**があること、問題に対しては、どのように対応するかの判断が様々な情報を把握していないと対応できないことが実際に体験して認識できた。



## 三鷹市

実施日時	10月20日（月）19:00～21:00
市参加者	20人（市職員18人 [健康推進課、子ども家庭課母子保健係、防災課]） （その他 2人 [市医師会、市薬剤師会]）
内容	<p><b>「クロノロジーを活用した医療健康班の初動対応研修」</b>                      三鷹市医療健康班初動マニュアルを、実践演習を通じて改善することを主な目的として実施。多摩東部直下型地震の発災を想定し、発災後6時間の市医療対策実施本部の動きを、「情報管理」に焦点を当て、クロノロジーを活用しながら情報整理・課題に向けた対応を実践。</p>

### 参加者の意見

- ・ 情報が錯綜するという場面は訓練を行うことにより、自分自身がどのように対応しなければならないか考えるきっかけになった。
- ・ 時系列で列記することにより、これまでの経過を踏まえた対応や判断ができるのがメリットと感じた。一方、全体の状況を確認することにはあまり向かないと感じたため**クロノロジーと並行し、救護所や搬送の状況もまとめていくことが大切**だと感じた。



# 令和7年度 多摩府中保健所における災害対策に係る取組③

所内体制の強化

## 令和6年度の「所内体制の強化」に係る取組

### ● HUGゲーム研修(令和6年6月)

避難所の疑似体験を通じて市の役割や取組内容等を学び、保健所職員としての支援のあり方を検討する研修

### ● 災害時参集・保健所災害対策本部立ち上げ訓練(令和7年1月)

勤務時間外の発災を想定した初動対応※の検証により、課題や問題点を抽出し、災害に対する備えを充実させる訓練

※職員・建物被害状況確認、指揮命令系統の確立、各市被害状況等の情報収集

## 研修や訓練等を通じて出た意見等のポイント

- 互いの職種の**専門性への理解**や**相互連携**の重要性
- 実践的な訓練・演習の必要性
- 平時からの市町村との連携
- 国や東京都による**情報管理のシステム化**を踏まえた、効率的・効果的な情報収集・共有の重要性

多職種で構成される保健所災害対策PT・WGにおいて、互いの専門性について知識を深めながら訓練に向けて検討し、12月に**災害対応の実践訓練**

実施日時	令和7年12月19日(金) 13:30~16:00
参加者	24人[事務、保健師、衛生監視、獣医師、栄養士、薬剤]
目的	災害時の市支援の一環として想定される避難所の保健活動について、一連の動き(情報収集からの状況判断、市との調整、巡回前作戦会議、巡回、報告等)を訓練することにより、避難所保健活動に係る観察のポイントや対応方法を、職種を越えて学ぶ。
訓練内容	<b>内容</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 収集した情報を基に、優先的に支援すべき避難所を選定(令和7年度より本格運用が開始されたD24Hも活用)</li><li>・ 保健所内で多職種で構成される避難所巡回チームを編成し、避難所を巡回</li></ul> ※訓練上は、避難所運営協議会代表者に扮した保健所職員とのやり取りを通じて、避難所の課題や支援内容を検討



## 参加者の意見と今後の取組

職種によって知識や気に掛けるポイントに違いがあるため、他の職種と一緒に巡回したことで幅広く深く状況を把握することができことは良かった。

▶引き続き、**全所体制**で災害対策に取り組んでいく。